

# 12月報告書



常陸太田市地域おこし協力隊 梨栽培 石原 恭

## 行った主な活動

### ■ 剪定

11月中に1人で作業できるようになり、12月も引き続き剪定を行った。分からないことは師匠に確認しながら進め、作業を繰り返す中でスピードが上がっていることも実感できた。



### ■ 誘引

誘引についても剪定と同様に1人で作業を行った。枝についた花芽の数や枝の長さ、太さなどを考慮し、次の収穫だけでなくその後の年の成長も見据えた作業を心がけた。判断が難しい場合は師匠に質問し、理由や考え方を教えてもらいながら進めた。結果として、選択枝を自分の中で整理する力が少しずつついてきたと感じた。



## 活動を行った感想など

剪定、誘引のどちらにおいても、多くの判断材料の中から重要な要素を抽出し、師匠と共有することで、木をどのような形に仕上げるべきかの全体像が見えてきたことが嬉しかった。

自分自身が勉強を進めることで、師匠と同じ目線で話ができる場面が増え、モチベーションの向上にも繋がった。

日々の積み重ねが技術向上の鍵であることを改めて感じた。

## 今後の目標など

より高い判断力と作業スピードを身につけるため引き続き努力していく。また、効率を求めるあまり作業が雑にならないよう、1つ1つ丁寧に進めることも心がける。